

令和5年度 第1回全国健康保険協会静岡支部評議会議事録

開催日時：令和5年7月11日（火） 14：00～15：15

開催場所：全国健康保険協会静岡支部会議室

出席者：足立評議員、石川評議員、藤本評議員、古川評議員、
森藤評議員、山田評議員（五十音順）

議 事：1. 令和4年度決算について
2. 令和4年度静岡支部事業計画の実施結果について

○議事の経過

1. 令和4年度決算について

資料1に基づき、事務局より説明。

〈評議員〉

静岡支部の医療費は全国より伸びており、コロナや呼吸器系の疾患の影響が大きいということだが、一時的な要因も考えられるため、今年度の医療費の推移を見つつ判断すべきではないか。

（事務局）

コロナや呼吸器系の疾患の医療費の伸びは全国的な動きであり、感染状況によって左右される部分もあります。支払基金のデータも見つつ推移を注視していきます。

〈評議員〉

コロナ禍では患者の受診動向に大きな変化があったが、医療提供側も診療内容に変化があったのではないか。また、コロナが2類から5類に変わることによる医療提供側の診療の変化がさらに起こる可能性があるため、注視が必要と考える。

〈議長〉

令和4年度決算については、承認ということによろしいか。

〈評議員一同〉

異議なし。

2. 令和4年度静岡支部事業計画の実施結果について
資料2に基づき、事務局より説明。

〈評議員〉

被保険者の健診受診率は上がっており、健診受診者数で見ても1万人以上増えているので個人的にはすばらしいと思っているが、支部としてどう評価しているか。

(事務局)

健診対象者数が増加していますので、健診受診者数も増加傾向ですが、静岡支部の1万人の増加は過去の実績を踏まえるとそれほど多いというわけでもありません。引き続き健診機関との連携を密にすること、健診機関の少ない地域や受け入れ体制がひっ迫している地域での集団健診、個別の健診受診勧奨等により健診受診率向上に努めていきます。

〈評議員〉

バスやトラックなどの業界団体への健診受診の協力依頼については、運輸業は2024年問題もあり業界全体へのサポートが大事である。また、建設業なども同じ課題を抱えているので、他の業界団体へも働きかけを進めていただきたい。

〈評議員〉

コラボヘルスの推進で自治体との連携は大事だと考える。一般的な質問ではあるが、健康経営による企業側のメリットはどのようなものがあるのか。

(事務局)

働き方改革の一助となること、企業ブランドの向上による優秀な人材の確保や職場の活性化などが挙げられますが、目に見えない部分も多くイメージしにくいです。静岡支部では県と連携した健康宣言事業を行っており、先日、事業所の健康づくり支援に関する取組が新聞報道されました。今後も、プレスリリースによる積極的な情報発信等を活用し、健康経営の普及に努めてまいります。

〈評議員〉

健康経営の推進のためにも、事業所の健康づくりを手厚くサポートするべきであり、コラボヘルス事業に充てる財源を増やしていくことが必要ではないか。

(事務局)

協会けんぽでは、今年度から生活習慣病予防健診の自己負担額を軽減するなど、更なる保健事業の充実に努めています。保健事業に充てる費用も増えていますので、今後も事業所の健康づくりを推進していきます。

〈評議員〉

メンタルヘルスに関する相談が近年増加している傾向にある。医療費への影響も懸念されるため対策が必要である。また、事業所で活用できるような広報物や啓発資材を提供いただけると助かる。

(事務局)

メンタルヘルスについては協会としても対策が必要だと感じており、理事長も国の審議会等で意見発信しております。静岡支部では産業保健総合支援センターを訪問し、連携について協議しており、今後、相談サポート体制等について事業所へ広報していく予定です。

〈評議員〉

返納金債権回収率が前年度より下がった理由について説明いただきたい。

(事務局)

保険者間調整を積極的に活用し返納金債権の回収を図りましたが、高額債権で未回収のものが発生しており、回収率は前年度より下がりました。

〈評議員〉

被保険者が増えて被扶養者が減っているのは、未婚率の増加や単身世帯の増加といった社会的背景も考えられる。単身世帯だと食習慣が疎かになりがちであり、他団体とのタイアップによる健康レシピの提供なども、保健事業の充実や加入者の健康度の増進につながるのではないかと。

〈議長〉

令和4年度静岡支部事業計画の実施結果については、承認ということでよろしいか。

〈評議員一同〉

異議なし